

# 第24回 対人援助学会準備会

テーマ：生殖医療と対人援助

～ <生殖の物語> に援助者は何ができるか～

報告者：荒木 晃子（立命館大学衣笠総合研究機構客員研究員）

日時：2008年10月22日（水）19：00～21：00

場所：キャンパスプラザ京都6階

（立命館大学研究室）【JR京都駅ビル駐車場西側】

参加無料 / 事前申込不要

「代理出産、精子・卵子の提供...高度生殖医療技術を駆使した不妊の治療現場では、次々と『新しい生殖の物語』が誕生しています。反面、メディアが報じるその背景に、不妊当事者たちの苦悩が消えることはありません。生殖の医療現場で当事者たちの声に耳を傾け、当事者援助の構築を社会で目指す演者が、『いま、生殖医療現場で起きていること』をご報告したいと思います。」

（講演者のプロフィール）

2007年立命館大学大学院 応用人間科学研究科修了

2008年現在、立命館大学衣笠総合研究機構客員研究員

人間科学研究所 生殖医療対人援助研究会（通称：TOFF研究会）主宰

「生殖にまつわるさまざまなテーマ」に焦点をあて、立命館アカデミア@大阪にて、医師・看護師・男性心理士と協働し、不妊当事者・医療者・援助者を対象に公開講座を開催するなど、研究活動を展開中。

現在、精神科クリニック・心理職。同時に、不妊治療専門クリニック・心理職を兼務。かつて、不妊の当事者経験を持つ、自称：エキスパート・ペイシェント。

主催：立命館大学人間科学研究所・対人援助学会準備会

問合せ先：立命館大学人間科学研究所（人文社会リサーチオフィス内）

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

TEL:075-465-8358 FAX:075-465-8245

E-mail: ningen@st.ritsume.ac.jp